

## 11 月定例記者会見

平成 26 年 11 月 4 日 (火) 午後 1 時～  
ハイトピア伊賀 4 階 ミティングルーム

### 1. 市長からの発表

あいさつ

「伊賀を知ってもらい伊賀のファンになってもらう」取り組みとして、「忍びの里 伊賀産 (いがもの) を味わう 2014 in 浅草」が 11 月 2 日にスタートしました。期間は 11 月 16 日までの 2 週間で、東京都台東区浅草で開いています。イベントの内容としては、伊賀牛・伊賀米・伊賀酒・野菜・菜種油を使って 34 店舗の参加協力店に特別メニューを提供していただくことで伊賀の食材の良さを知ってもらい、販路拡大を目指すものです。

食材イベントを盛り上げ、伊賀の食材を紹介するために 11 月 2 日と 3 日に浅草の六区ブロードウェイでオープニングイベントを実施しました。会場には、初日 5,000 人、2 日目は 3,000 人の方が来場されました。

イベントの内容は、「伊賀米量り売り」や「伊賀牛串焼きの販売」、「菜種油の販売」、「伊賀焼の販売及び伊賀酒の試飲」、「手裏剣打ち体験」、「いがグリオショー」などを行いました。心配していた天候のほうもなんとか雨も降られず、集客のほうも多く、伊賀の食材だけでなく伊賀の様々な魅力を発信することができたと思っています。

今後の予定としては、11 月 10 日に日本橋に開設されている「三重テラス」で「伊賀産フードビジネスマッチングフェア」と称して著名なレストランのシェフ等約 20 人を招待して、伊賀産の食材を使ったメニューによる試食会及び商談会を行います。会場には伊賀米・伊賀牛・野菜・伊賀酒・菜種油ブースを設置して、それぞれの食材を売り込んでいきます。

また、11 月 16 日には終了感謝イベントを計画しています。

今年から始めましたアンテナショップ「伊賀産 (いがもの) 立寄処」の販売実績は、日によって売上金額に差がありますが、忍者グッズや伊賀米、伊賀酒を中心に好評を得ています。

これらの取り組みは、ブランド農産物の販路拡大を図り生産者の意欲向上に資するとともに、伊賀のファンをつくることで観光客の誘致にも繋がり、地域の活性化に寄与するものと考えています。

それから、着地型観光「伊賀ぶらり体験博覧会 いがぶら」についてです。

現在、市内各地で「伊賀ぶらり体験博覧会 いがぶら」が開かれています。10 月、11 月の開催期間の半分が経過しましたが、現在 (10 月 28 日) の状況を報告させていただきます。

予定しておりました 135 個のプログラムの内、91 個が開催されました。参加者数は 729 人となっております。開催に至らなかったものは、最少催行人数に満たなかった理由の他、台風の影響によりやむを得ず中止としたプログラムもあります。

11 月末まで、ほぼ毎日何らかのプログラムが開催されております。まだまだ予約可能なプログラムが多数ありますので、お申し込みをお待ちしております。

### (1) 第10回伊賀市民スポーツフェスティバルの開催について

11月に入り、文化・スポーツの季節になりました。11月9日の日曜日に「第10回伊賀市民スポーツフェスティバル」が市内9箇所の会場で、7種目のスポーツ大会が盛大に開催されます。

伊賀市も合併して10年という節目の年になります。合併してから旧6市町村の方々が、スポーツというツールを使って一つになり、そして一丸となって伊賀市を盛り上げていこうということで、この大会が始まりました。

今年は、約2,000人の市民の方が参加される予定です。大会会場や参加人数は資料をご覧ください。

### (2) 第25回伊賀上野シティマラソンの開催について

伊賀市で最も大きなスポーツ大会である「第25回伊賀上野シティマラソン大会」が11月30日の日曜日に伊賀市立西小学校をメイン会場に開催されます。今年は、ゲストランナーとして「げんき〜ず」の宇野けんたろうさんです。

彼は、芸能人では、有名な長距離ランナーで、多くの大会で芸能人では第1位、総合でも上位に入っている方です。またFCくノ一のレギュラー選手も多く参加されます。

この大会は、“風になって忍者の里をかけぬけよう”というサブタイトルが付いていますが、歴史を感じさせる町並みやのどかな田園風景の中、伊賀の自然をいっぱいを感じながら走っていただき、スタッフや応援に駆けつけた市民との交流を深め、伊賀びとのおもてなしを感じていただければと思っています。

今年は、4,000の方が全国各地から参加登録してくれました。過去最高の申込者数となりました。部門別に登録された方などの詳細は、別紙資料のとおりです。

### (3) 伊賀上野NINJAフェスタ in 上野恩賜公園について

伊賀市の観光・物産にかかる首都圏情報発信事業として、11月22日(土)～24日(月)の3日間にわたって、東京都台東区にあります上野恩賜公園にて「伊賀上野NINJAフェスタ in 上野恩賜公園」を開きます。このPRイベントは、昨年度も開催しましたが2日間で約8万人が来場され、大変ご好評をいただきました。

現在、11月2日から11月16日にかけて、同じ台東区の浅草において「忍びの里 伊賀産(いがもの)を味わう2014in浅草」を開かせていただいています。浅草の次は上野で伊賀市をPRしていきたいと考えています。

内容としては、伊賀忍者特殊軍団「阿修羅」による忍者ショーと、観光大使のいが☆グリオと仲間達によるパフォーマンス、忍者衣装を着た子供達によるダンスショーなどのステージパフォーマンスをはじめ、手裏剣打ちなどの忍者体験とともに忍者衣装の貸出も行います。

物産に関しては、伊賀米や伊賀産野菜をはじめ、日本酒、和菓子、伊賀くみひも、伊賀焼などを販売するほか、伊賀牛、伊賀米を使ったメニューを提供する屋台も出展する予定です。

秋の3連休ということもあり、昨年以上の人出が期待できることから、今回のイベントに関しても大きな効果を期待しています。

#### (4) 「忍者・忍術学講座 in Tokyo」の開催について

三重大学人文学部により、地域の産業や歴史、文化、経済などの「知の拠点」として、上野商工会議所の「地域活性化センター内」に開設されました「三重大学伊賀連携フィールド」では、忍者文化の調査研究及び忍者文化を通じて生まれた人的交流を活用し、忍者発祥の地「伊賀」から世界に向けて忍者文化を発信しています。市民講座として開催している「忍者・忍術学講座」では、毎講座100人近くの受講者が集まり、伊賀市外の受講者の割合も増え、全国で例のない忍者を学術的に学ぶ貴重な場となっています。

今年度は、三重県首都圏営業拠点の「三重テラス」において、「忍者・忍術学講座 in Tokyo」と題した特別講座を年2回開催することとなっており、5月31日に第1回目を開催し好評をいただきました。

今回は、その第2回目として12月6日に開催することとなりました。講座の内容は、三重大学人文学部の山田雄司教授による「江戸の忍者」をテーマとした講座と武蔵一族のバネッサ朱雀氏とのトークセッションを予定しており、現在、50人の参加者を募集しているところです。私も参加して、国内はもとより世界に向けた忍者文化の拠点であることを最大限にPRし、伊賀への誘客につなげたいと考えています。

また、翌日12月7日には、伊賀上野観光協会の主催により、伊賀忍者ゆかりの史跡を巡る「伊賀百人衆 江戸城下探索の巻」が東京都内で開かれます。前日と同じ三重大学の山田雄司教授が案内人となり、忍者衣装に着替えた100人の参加者が、半蔵門をはじめとする都内に点在する忍者ゆかりの地を探索するイベントとなっており、現在、参加者を募集しております。

## 2. 11月～12月の主な行事予定

### (1) 差別をなくす強調月間事業

#### ○阿山地区人権フェスティバル 2014

日時：11月15日（土） 午後1時30分～

場所：あやま文化センター さんさんホール

内容：第1部 人権作品表彰と人権作文朗読

第2部 トーク&コンサート

講題 互いを活かし、共に生きる

講師 田中ゆかさん&伊藤ひろしさん

問い合わせ先：阿山支所振興課（43-1543）

#### ○差別をなくすいがまの集い

日時：11月21日（金） 午後7時30分～

場所：ふるさと会館いが 大ホール

内容：第1部 人権作品表彰

第2部 講演

講題 「部落差別」の課題は何を問うているのか？

講師 桑名市 西恩寺住職 池田徹さん

問い合わせ先：伊賀支所振興課（45-9108）

○2014しまがはら人権のつどい

日時：11月22日（土） 午後1時30分～

場所：島ヶ原中学校体育館

内容：第1部 人権作品表彰と人権作文朗読

第2部 講演

演題 差別意識を考える ～その謎解きの旅～

講師 奈良県人権教育推進協議会 会長 大寺和男さん

問い合わせ先：島ヶ原支所振興課（59-2053）

○おおやまだ人権フェスティバル 2014

日時：11月30日（日） 午後1時30分～

場所：大山田農村環境改善センター 多目的ホール

内容：第1部 人権作品表彰と人権作文朗読

：第2部 人権講演会

太鼓演奏・講演

講師 太鼓集団 疾風(KAZE)

問い合わせ先：大山田支所振興課（47-1150）

○人権を考える市民の集い

日時：12月7日（日） 午後1時30分～

場所 伊賀市文化会館 さまざまホール

内容：第1部 人権作品表彰と人権作文朗読

第2部 人権トーク&コンサート

講演 心が教えてくれること

講師 小西達也さん

問い合わせ先：人権政策・男女共同参画課（47-1286）

○2014 人権のつどい

日時：12月13日（土） 午後1時～

場所：青山ホール

内容：第1部 人権作品表彰と人権作文朗読

青山小学校・青山中学校からの発言

第2部 講演ライブ～心の授業～

講師 JERRYBEANS

問い合わせ先：青山支所住民福祉課（52-1115）

### 3. その他

#### 【主な質疑応答】

(記者) 今日、残土条例の制定と水質検査を求める要望が提出されましたが、その件について市長の見解があればお願いします。

(市長) まだ報告を受けていないので、これまでの経緯に沿って対応していくことになると思います。

(記者) 6月議会では、県が中心になって進めていくべきものと仰っていましたが、その考えは変わりませんか。

(市長) 市だけでなく県と一体となって進めていかなければならないと思います。

(記者) 芭蕉翁生誕370年記念事業の投句箱の設置について、10月31日で募集期間が終わり、その取扱いはどうするのかということと、その集計はどうだったのか教えていただきたい。

(市長) まだ報告を聞いていませんので、資料は追って出すようにします。

(記者) 11月は公務でスペイン等に行かれますが、どれぐらい伊賀市を離れられますか。

(市長) スペインは11月19日から行き23日に帰ってきて、その日に上野恩師公園のNINJAフェスタに寄ります。その他を含めて11月中では、2日～3日、9日～10日、19日～23日です。

(記者) 補助金の見直しについて、現在、意見募集していますが、131の事業の中で14事業を廃止するという方針だったと思います。その14事業の中に、ペットの去勢手術の助成が含まれていますが、道の駅にドックランの施設があったり、忍者フェスタでは犬に衣装を着せたり、ペットにちなんだ事業がある自治体として廃止するのは、市長として何か考えはありますか。

(市長) 何を廃止するかということは、中間報告を聞きながら決定していくこととなります。詳しい検討結果は報告を受けていませんので、ここで申し上げることは控えさせていただきます。